

# 2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KF3	科名	アパレル技術科3年生産システムコース	単位	単位
科目コード	402100	科目名	CAD グレーディング	授業期間	前期 (1年)

担当教員(代表) :	共同担当者 : 佐久間 一夫
------------	----------------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)  
 グレーディングの基礎・知識・実務レベル・CAD オペレーション操作方法の理解・習得

コマ	内容	時間	詳細
1	ハンドグレーディングの講義 (基礎—タイトスカート)	1.5	カリキュラムの内容の説明、切開方式 (スカート) 展開
2	CADグレーディングの説明 (タイトスカート)	1.5	CADで展開する (後スカート・前スカート・ベルト)
3	CADグレーディングの講義 (基礎—パンツ)	1.5	CAD上にて切開方式で (後パンツ・前パンツ) 展開
4	CADグレーディングの説明 (パンツ)	1.5	CADで展開する (後パンツ)
5	CADグレーディングの説明 (パンツ)	1.5	CADで展開する (前パンツ)
6	CADグレーディングの講義 (基礎—シャツ・身頃)	1.5	CAD上にて切開方式で展開する
7	CADグレーディングの説明 (シャツ・身頃)	1.5	CADで展開する
8	CADグレーディングの講義 (基礎—シャツ・袖、衿)	1.5	CAD上にて切開方式で (袖・カフス・衿) 展開
9	CADグレーディングの説明 (シャツ・袖、衿)	1.5	CADで展開する
10	CADグレーディングの説明 (シャツ・全体)	1.5	CADで展開する (全般見直し)
11	CADグレーディングの説明 (シャツ・全体)	1.5	CADで展開する (全般見直し)
12	CADグレーディングの説明 (スカート・パンツ)	1.5	前期末中間試験・対策準備・おさらい
13	CADグレーディングの説明 (スカート・パンツ)	1.5	前期末中間試験・対策準備・おさらい
14	CADグレーディングの説明 (スカート・パンツ)	1.5	前期末中間試験・答え合わせ・説明

評価方法・対象・比重  
 学年末試験・・・80% 授業・課題・宿題への取り組み方態度・・・20%

主要教材図書 東レグレーディング・マニュアル (D0・S0・T0・R0)  
 参考図書 文化服装学院編・グレーディング書籍  
 その他資料 グレーディングの説明資料、パターン、他

記載者氏名 佐久間 一夫

西暦 2021 年度  
令和 3 年度

アパレル技術科システム生産 カットソー 3 年 選択科目

指 導 案

点検責任者: 上野和博 印

ニット生産実習

単位 2

担 当 者: マレイ(有) 西川 真令 印

教育目標・レベル設定

科コード 科名 システム生産実習 3 年  
科目コード KF31102300 科目名 ニット生産実習

共同担当者: マレイ(有) 中川絵里奈 印

回数	日付	コマ数	テーマ	目的	指導内容・方法	学習内容・方法	準備・備考
1	4/14	1,2	丸編み概論 美しいシルエットの立体裁断の説明	丸編素材説明、シルエットの正しいカットソーの理解 トップデザイナーの美しいシルエットの作り方理解	立体裁断された綺麗なカットソーのシルエットを理解させる モニターで Paris Collection の Top Designers と日本人デザイナー比較論	Japanese Designer と Paris, s Collection Designer の作品を見てのシルエットの比較から美しい基本シルエットの理解を示す。	パリコレ東京コレの現物サンプルなど
2	4/28	3,4	綿フライス立体裁断の実習	カットソー立体裁断 パターンは 1 枚のパターン紙で作図が出来る。 立体でパターンを考えさせる。	前身頃と後ろ見頃の 2 面で考えるのではなく、立体的な 1 面で美しいシルエットを創作するイメージを養う立体裁断の実習指導	ラインテープでデザインを考える立体裁断のパターンの作成	ボディー他立体裁断のテープとピンワーク
3	5/12	5,6	V 首 T シャツ、ランニング立体裁断の平面パターン作図製作 生地裁断	V 首 T シャツとランニングの作製 W 付けとバインダー縫いの違いを理解	立体から平面に移動するバスターツ無の美しいパターン製図、チェックをしながらアドバイスを する	立体の考えと 1 枚のパターンで前身頃後身頃が一對となった作図が出来る事を知る	作図用紙用具 ミシン数が少ないので縫い順序の考察
4	5/26	7,8	縫製 V 首 T シャツとタンクトップ(ランニング)	各種ミシンの縫い方理解 縫う工程理解でミシンを使つての縫製	基礎的なミシンの扱い方を理解させ 工程を理解させ各種ミシンの実践指導 2 本針オーバーロック、2 本針振りミシン、1,2 本バインダー縫い方説明をして教える。 衿ネームの付け方、洗濯絵表示の付け方を教える。	カットソーに必要な総ての各種ミシンを理解させる。 ネーム付け、検品、ビニール袋詰め、 検針の製品作りまでの考えを経験させる。	縫製用具 ネームテープ、洗濯絵表示、
5	6/9	9,10	縫製 V 首 T シャツとランニング ビニール袋詰めまでの商品作り。	各種ミシンの縫い方理解 縫う工程理解でオーバーロック、2 本針振りミシン、天地ロックを使つての縫製。 プレス、検品 ビニール袋詰め検針 販売納品商品としての教育	基礎的なミシンの扱い方を理解させ 工程を理解させ各種ミシンの実践指導 洗濯絵表示、ネーム付けの縫い付け。 製品上がりまでのプレス、ビニール袋詰め、 検針の納品までの知識を教える	カットソーに必要な総ての各種ミシンを覚えさせる。 立体、作図、裁断、縫製と商品の仕上がりまでプレス検針袋詰めまで教える。 ビニール布詰め商品を 納品するまでの作り方を教える。	縫製用具 検針機、ビニール袋

6	7/7	11,12	パーカーの作図 インクジェットプリントでイメージ ロゴのプリント	裏毛素材の理解、ファスナー 付けなど幅広いパターン製作 の経験をさせる、 重ね合わせを理解させる インクジェットプリントのロゴを クラスで考えさせる	クラスでインクジェットプリン の企画をさせる クラス一同でプリント企画ロゴを決めさせる インクジェットプリントをしたパーカーの製品作り ブルオーバーなのでゆとりのあるパターン作図 を教える。 色々のパーカーを説明する	フード、多様なポケットなどステップア ップの縫製指導 プリント理解	平面作図用具使用
7	9/15	13,14	30/10 裏毛裁断 インクジェットプリント	裁断 地の目 毛並み一方 向マーキング 裁断	用尺型入れの考え方を教える インクジェットプリントと毛捺染の違いを理解させ る	PC イラストレーターの使える生徒に 自信を持たせる	通信
8	9/22	15,16	プリント・パーカー綿裏毛裁断。 インクジェットプリントを行う 縫製	作図仕上げと裁断 プリントでクラス統一ロゴを生 徒に作らせる オープンファスナーも教える インクジェットプリントの経験	ファスナー付けの縫い代、ポケット付けのパター ン、W リブ付け、フードパターン重ね合わせなど レベルアップしたパターン製作の理解	ファスナー付けの縫い代、ポケット付 けのパターン、Wリブ付け、フードパ ターンなどワンステップしたパターン製 作の理解	Inkjet Print 飯塚先生に指導依頼
9	10/6	17,18	30/10 綿裏毛パーカー縫製、 フード重ね、カンガルーポケット	重ね合わせ、フード、カンガ ルーポケット、リブ使い 衿折伏せテープ仕上げ	紐通しのフード重ね合わせ、カンガルーポ ケットの作り方、リブの縫い方 衿回りの折伏せテー プなど多様なデザインに挑戦させることでレベルア ップを図る。 鏡の前で縫い上げたパーカーデザインチェック	幾多の縫製技術指導 製品仕上がりは着てみての最終チェ ック	鏡の前で試着、 チェック
10	10/20	19,20	鹿の子裁断と編立リブのパター ン	ポロシャツ、スポーツウェア ンの理解を深める 鹿の子地の素材理解	丸編みと横編みの違いを理解させパターンと素 材の違いを理解させる	裁断で認識させる W 付け縫いよシン グル編み時の縫い方の違いを理解さ せる	
10	11/10	21,22	製品染めポロシャツ、作図 鹿の子使用 丸編みと横編み衿リブの合わ せ、綿糸縫い企画	アパレルでは一度は企画す る製品染め、 ポロシャツの作図、縫製の知 識を教える	縮むことを見込んでのパターン作り、編立衿の 考え、シングルリブの理解、1 枚のパターンで前 立ての作り方、1 枚パターンの片玉縁ポケットの作 り方方法の指導	横編みリブ仕様のステップアップした 縫製技術指導 1 枚のパターンで上前下前、前立てと 片玉縁ポケット簡単な作り方を指導	精練綿縫い糸使用 衿、リブの編立を発注 洗濯絵表示、 ネームテープ
11	11/24	23,24	作図 製品染めポロシャツ 裁断、縫製準備、 綿糸縫製。 丸編みと横編みの合わせ企画	製品染めの縫い糸は綿糸 で、アパレルでは一度は企画 する製品染めの知識を教え る	編立衿、編立リブ、編立テープの縫製を理解さ せる。前立てはパターンから縫製まで実践指 導、前立ては男あき、女あきの作り方を指導、	鹿の子生地扱い方を知る	教室でパターン製作 裁断
12	12/8	25,26	編み立てリブと縫製 製品染め ポロシャツ	編み立てリブの高度な縫製 技術と1枚で出来る前立て上 下と両玉縁ポケット	プレタポルテでも創造的な高度な縫い方指導	パターン、縫製の実践的指導 鹿の子生地扱い方を知る	縫い 洗濯絵表示
13	1/12	27,28	編み立てリブと縫製 製品染め ポロシャツ 総ての提出物の完了	製品染めの縫い糸は綿糸 で、アパレルでは一度は企画 する製品染めの知識を教え	編立衿、編立リブ、編立テープの縫製を理解さ せる。前立てはパターンから縫製まで実践指 導、前立ては男あき、女あきの作り方を指導、	横と丸の実践的指導	縫い 総ての提出物

				る			
14	1/26	29,30	部分縫い見本帳作り	社会で企画会議や生産確認に使用する 部分縫い見本帳作り	アパレル生産企画で 確認見本として必要な部分ぬの縫製仕様説明をする	グループで助け合って17ページ程縫い上げてファイル整理	見本帳文章コピーとファイル

# 2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KF3	科名	アパレル技術科 3年生 生産システムコース	単位	単位
科目コード		科目名	生産管理各論 製品企画	授業期間	( )

担当教員(代表) : 丹羽一友	共同担当者 :
-----------------	---------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

日本におけるファッションビジネスの状況を理解し複雑化する業務内容の中で学生自身がトライしたいと思える役割を見つけ実際のビジネスで即戦力になれる事を目的とした講義内容の設定とする。

## 【授業計画】前期(各1コマ)

- ①国内マーケットについて  
日本におけるファッションビジネスを取り巻く現在の環境を理解する
- ②国内の流通の仕組みについて  
日本のファッションビジネスを構成している各パートとその役割を理解する
- ③ブランディングについて  
「ブランド」の意味と構築の方法、維持までを理解する
- ④販売計画：SPA 編  
SPAにおける販売計画作成の仕方、商品の調達方法などを理解する
- ⑤販売計画：アパレル(卸売業態)編  
卸アパレルにおける販売計画作成の仕方、商品の調達方法などを理解する
- ⑥販売計画：アパレル(OEM)編  
OEMアパレルにおける販売計画作成の仕方、商品の調達方法などを理解する
- ⑦商品企画：SPA 編  
SPAにおける商品企画から生産指示まで具体的な業務を理解する
- ⑧商品企画：アパレル(卸売業態)編  
卸アパレルにおける商品企画から生産指示まで具体的な業務を理解する
- ⑨商品企画：アパレル(OEM)編  
OEMアパレルにおける商品企画から生産指示まで具体的な業務を理解する
- ⑩生産管理概論  
生産管理の主なる業務内容と企画との連携などを具体的に理解する
- ⑪生産管理概論  
生産管理の現状(流通形態による違い)と役割、業務内容を理解する
- ⑫その他のセクションについて：営業、販売、ディストリビューター  
企画、生産と両輪にある売り上げを生むセクションについて具体的な業務を理解する
- ⑬ファッションビジネスのこれから  
ファッションビジネスが抱える問題と課題、これからの展開を理解する

## 【評価方法】

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名

# 2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12313	科名	アパレル技術科3年 生産システムコース	単位	1	単位
科目コード	401300	科目名	生産企画各論 製造企画	授業期間	後期	

担当教員(代表) : 中村 宏	共同担当者 :
-----------------	---------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

【到達目標】：アパレル製造は、グローバルサプライチェーンの中で展開されるが、この現状を把握し、アパレル製造の機能と方法を理解する。また、日本のアパレル生産の現状を理解し、今後の取り組み課題について各自考察する。

【レベル設定】：工業製品であるアパレルの製造に必要な機能と製造方法、管理方法を概念的に理解できる程度。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

	テーマ	方法	コマ数
1	日本と世界のアパレル市場の現状と課題を知る	講義	1
2	日本のアパレルの発展と衰退の過程から構造的な問題点を学ぶ	講義	1
3	世界のアパレル生産の実情とこれからの方向性を学ぶ	講義	1
4	最新の縫製機械の種類・機能・性能を実際に見て学ぶ	見学	1
5	アパレル生産の基本である人体計測とサイズ展開を学ぶ	講義	1
6	アパレル生産の設計・製造過程を知る	講義	1
7	IE手法の内、稼働分析の知識と技法を学ぶ	講義・実習	1
8	IE手法の内、工程分析の知識と技法を学ぶ	講義・実習	1
9	IE手法の内、動作時間研究・標準時間の知識と技法を学ぶ	講義・実習	1
10	工場の縫製ラインの具体的な生産方式の設計内容を学ぶ	講義・実習	1
11	合理的な工場レイアウトと設備配置について学ぶ	講義・実習	1
12	多品種少量生産での課題と、アイテム・ロットに応じた生産システムについて学ぶ	講義・実習	1
13	納期管理のための計画策定と進捗管理の実際を学ぶ	講義・実習	1

## 【評価方法】

2/3以上の出席、授業態度、ミニテスト、レポート、試験成績などを総合的に評価する。

主要教材図書 [教科書] アパレル生産講座⑩アパレル製造企画、配布資料
参考図書
その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

【特徴】 基本的な技法や知識に加え、実際の世の中の動きや取り組みの最先端の内容を、教員の実際の活動や知識と合わせて教える。

【教員紹介】 企業活動を通じ、世界のマーケットの最新の動きを把握するとともに、業界活動を通じ最先端の技術開発の企画推進にも携わっており、世の中のこれからの学生に問いかける。

記載者氏名	中村 宏
-------	------

# 2022度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12303	科名	アパレル技術科3年・生産システムコース	単位	単位1
科目コード	401400	科目名	生産管理各論 品質管理	授業期間	後期

担当教員(代表) : 大峠 敬三	共同担当者 : 坂田 候晋
------------------	---------------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル・小売企業が求める審美性、コスト、納期と消費者が求める品質を備えた製品を生産するために必要な品質管理について基本的な知識と、実際の現場を踏まえた情報を合わせ、より現実的な知識と技術を学ぶ。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

内 容	方法	コマ数
品質管理とは? ・アパレル、小売り各社の品質管理の考え方 ・アパレル製品の企画から販売まで	講義	1
繊維の種類と特性 ・各種繊維の種類や特性、染色について ・織物・編物の特性と物性について	講義	1
繊維製品の品質評価 ・染色堅牢度、寸法変化率、物性の各試験と評価方法 ・機能素材の評価方法 ・検査結果を製品づくりに活かす	講義	1
アパレル業界に関連する法律(表示関連)について ・家庭用品品質表示法と取扱い絵表示	・景品表示法 ・表示〇×クイズ 講義	1
製品品質における安全管理 ・アパレル製品の安全管理 ・作ってはいけない、販売してはいけない製品	講義	1
繊維製品の取扱いとお客さまからの事故事例 ・着用、洗濯とクリーニング、保管 ・苦情発生時の対応と調査、再発の防止策	講義	1
生産における品質とは? ・アパレル製品に求められる品質 ・アパレル製品が作られる上でのパート別役割	講義・グループ活動	1
生産における品質管理① ・ルーティーンワークと品質管理 ・素材選びの品質管理	講義・グループ活動	1
生産における品質管理② ・海外生産の品質管理	講義・グループ活動	1
設計作業の品質管理 ・パタンナーの品質管理 ・設計段階で起こる問題事例と解決策	講義・グループ活動	1
製造工場の品質管理① ・外注担当者の実務とは ・工場選択の物差し	講義・グループ活動	1
製造工場の品質管理② ・外注担当者の質 ・外注指示による問題事例とその解決策	講義・グループ活動	1
工場内危険物・備品管理 ・工場内の管理方法 ・工場指導のポイント	講義・グループ活動	1
外観検査(検品)の品質管理 ・外観検査(検品)とは ・外観検査の方法と判定	・外観検査をすることに関する注意点 ・物流の品質管理輸送、保管の品質管理 講義・グループ活動	1
消費者窓口の品質管理 ・お申し出における企業 ・問題に対応する心構え	講義・グループ活動	1

【評価方法】 期末試験70% 出欠席15% 授業姿勢15%

主要教材図書 アパレル品質論・アパレル品質管理

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

企業での品質管理業務の経験をもとに、アパレル・小売企業が求める審美性、コスト、納期と消費者が求める品質を備えた製品を生産するために必要な品質管理について基本的な知識と実際の現場を踏まえた情報を合わせ、より現実的な知識と技術を学ぶ授業を実施

記載者氏名 大峠 敬三

# 2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KE2	科名	アパレル技術科 2年	単 位	1単位
科目コード	500820	科目名	ファッションデザイン画 II	授業期間	半期

担当教員(代表) : 橋本 定俊	共同担当者 :
------------------	---------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

衣服のデザイン、構造を的確に描くことができるようになることを第一の目標に、学生個々の表現力を伸ばしていく。材質表現を中心としたベーシックなドローイング、彩色テクニックの習得及び明瞭なアイテム図の描き方を習得する。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- I・ベーシックデザイン/人体プロポーションのバランス確認と応用ポーズの作成  
柄、透ける素材の描き方を練習 <2コマ>
- II・ディテールからの造形練習/ギャザー、フレアー、プリーツ、ドレープなどのディテールを応用しデザイン展開  
グレーマーカーによる陰影とホワイト彩色によるハイライト効果 <2コマ>
- III・各種素材表現/厚地・薄地のデザイン・・・・・・マーカー・水彩の彩色技法、補助画材としての色鉛筆の使い方  
デニム・皮革のデザイン・・・・・・パステルの彩色技法 <2コマ>
- V・アイテム図/衣服を明確な線図として描く。  
各種アイテムのバランスの取り方とペン(太、中、細)の扱い方 <2コマ>
- IV・デザイン発想/画材の混色とマチエールの研究  
筆のタッチによる材質感の描き方 <2コマ>
- VI・アイテム研究/アイテムの歴史とディテールの研究。  
基本的な構造や機能を理解した上でのデザイン展開。 <4コマ>

## 【評価方法】

課題作品による評価 評価基準:学業評価75%、授業姿勢25%

## 授業の特徴と担当教員紹介

担当教員 橋本定俊

ファッションデザイン画のテクニック向上に加え、担当教員のアパレル業界でのデザイナーとしてのキャリアと知識に基づく、学生の未来に視点を置いた学習内容と指導になっている。

担当教員は、大学卒業後、文化服装学院アパレルデザイン科を卒業。(株)BIGI、(株)ワールド、タケオ・キクチのアシスタントデザイナーを経て、(株)イトキンでオリジナルブランドを設立、その後 文化服装学院、文化学園大学で、ファッションデザイン画、ファッションイラストレーションの講師を務めている。(株)STHM 代表。

## 主要教材図書

## 参考図書

## その他資料

記載者氏名 橋本定俊

# 2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12313	科名 アパレル技術科3年 生産システムコース	単位	1
科目コード 607000	科目名 アパレル貿易実務	授業期間	後期

担当教員(代表): 神場 教彰	共同担当者:
-----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アパレル生産、特に海外との取引事情、流通や貿易の流れ、それに付随する経済・社会情勢などの環境についての概略を理解する。</li> <li>・アパレルメーカーのスタッフとして業務遂行可能な貿易実務の基礎知識を習得し、関連用語を理解する。</li> </ul>
--

<p>【授業計画】          テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 海外生産の重要性 (講義 2コマ)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の衣料品生産と輸出入の推移</li> <li>・繊維製品の主要国別輸入の推移</li> </ul> </li> <li>2. 貿易取引実務について (講義 8コマ)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・貿易の仕組みと流れ</li> <li>・信用状の基礎知識</li> <li>・海上貨物保険・貿易保険</li> <li>・代金決済</li> <li>・輸出実務</li> <li>・輸入実務</li> </ul> </li> <li>3. 海外流通事情について (講義 4コマ)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国為替相場</li> <li>・先物予約</li> <li>・アパレル貿易・生産の現状</li> </ul> </li> </ol>
---

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>出席による評価 80% 課題提出物(ワーク) 20%</p>
---

<p>主要教材図書 なし</p> <p>参考図書 なし</p> <p>その他資料 私製資料配布</p>
---

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>海外企業でのデザイナーやアパレル企業経営の経験をもとに、アパレル生産の特に海外との取引事情、流通や貿易の流れ、それに付随する経済・社会情勢などの環境についての概略を理解し、アパレルメーカーのスタッフとして業務遂行可能な貿易実務の基礎知識を習得し、関連用語を理解する授業を実施</p>
--

<p>記載者書名欄 神場 教彰</p>
---------------------